



9月議会

節木三千代県議は、9月27日の一般質問で①消費税増税の中止 ②障害青年の教育の保障 ③看護職員の労働条件の改善等を求めました。

暮らしをこわす消費税増税は中止を

5%引き下げで景気回復を



消費税増税中止を訴える共産党県議団

ふしき県議は家計消費の落ち込みや暮らしの深刻な実態を指摘。政府が掲げた「増税対策」プレミアム商品券について、高齢者から、「2万円用意しないと商品券がもらえない。暮らしの大変さを知っているのか」と怒りの声が広がっていることを紹介。こんな状況のもとで消費税増税など断じて認められないと、三日月大造知事に反対を表明するよう迫りましたが、「消費税増税は必要不可欠な財源」と従来の考えを示しました。10月1日に強行された消費税10%増税に抗議するとともに、暮らしも経済も立てなおすため、まずは5%への減税を求めて、引き続き皆さんと力をあわせませす。

障害青年の教育の保障を一専攻科の設置を求める

ふしき県議は、特別支援学校の高等部を卒業した障害青年が2年間学べる「専攻科」の設置を求めました。国連障害者の権利条約における中等教育に、高等部の延長としての専攻科も含まれると指摘。NPO法人「専攻科滋賀の会」が特別支援学校高等部の保護者や教員、福祉職員に行ったアンケートで、7割以上の方が教育年限の延長について「希望する」「必要」と回答していることを紹介しました。三日月知事は「学びの場を保障するために教育委員会と議論していきたい」とこたえました。

看護師の大幅増員で労働環境の改善を

ふしき県議は、県内の病院で、看護師の夜勤月8日以内が守られていない実態をとりあげ、看護職員の大幅増員で労働環境を改善するため、「第8次看護職員需給見通し」について、国言いなりでなく県独自の策定を求めました。

日赤志賀病院など県内5病院「再編」を名指し！！

地域医療を崩壊させる病床削減に抗議、撤回を

9月26日、厚生労働省が、病床削減を目的に全国424病院について「再編統合が必要」と公表。滋賀県では、独立行政法人地域医療機能推進機構滋賀病院・大津赤十字病院志賀病院・守山市民病院・東近江市立能登川病院・長浜市湖北病院とされています。日本共産党県議団は、10月4日、三日月知事宛で国に対して「地域医療を崩壊させる病床削減『再検証』に抗議し、撤回を求める」要望をしました。



要望する共産党県議団

テレビ放映 6月議会 障害者の「暮らしの場」の確保を

県外で158人が暮らさざるをえない。

9月23日に放映されたテレビ朝日「キャスト」では、県内にお住いの強度行動障害のAさんご家族の1年半の暮らしが紹介されました。私は、6月議会でAさんが、養護学校卒業後、グループホームなど暮らし場がなく、ご家族が奔走されておられることを議会で取り上げ、障害者が158人も県外で暮らしている実態を明らかにしました。



テレビ放映 知事に迫る

Aさんのお母さんが傍聴される中で、遅れているグループホーム整備のために予算を拡充するよう三日月知事に求めました。番組ではこの議場の様子の1部が放映されています。Aさんはようやく県内のグループホームに入所できました。わが子の自立にむけての思いをお母さんが語っておられました。「かつての『福祉先進県』といわれた滋賀の福祉が今は壊れている」との声が寄せられています。引き続き、滋賀県で豊かな人生がおくれるよう「暮らしの場」づくりへみなさんと力を合わせます。(ふしき)

生活相談会をおこなっています。

毎月 第1.3月曜日 午後3~5時まで

場所：ふしきみちよ事務所 無料・秘密厳守

2019年10月8日 発行：ふしきみちよ事務所

大津市末広町4の4 Tel・Fax 077-523-0334

メール mfushiki@beach.ocn.ne.jp

ふしきみちよ公式ホームページ <http://fusiki.huu.cc/>

ふしき みちよ

検索